

Japan River Restoration Network News Letter

発行：日本河川・流域再生
ネットワーク事務局

〒102-0082
東京都千代田区一番町8番地
一番町FSビル3階
財団法人 リバーフロント整備センター内
Tel : 03-6032-7121
Fax: 03-6032-7456
E-mail: info@a-rr.net
URL: <http://www.a-rr.net/jp/>

巻頭書記

JRRN ニュースレター第 14 号では、JRRN 事務局活動報告として、①第 1 回 JRRN 河川環境ミニ講座「環境流況」開催報告、②韓国「健やかな道林川をつくる市民の会」との意見交換会の報告を、ARRN 事務局の活動報告としてニュースレター創刊及び常設委員会設置に関する内容を掲載しております。

JRRN では、ネットワークの更なる拡大に向け、団体・個人会員数の増加を図りながら、国内外の河

川・流域の再生や水辺の活性化に関わる情報や人材リソースの充実化を目指していきたいと思います。

日頃の河川環境再生に関する活動を通じて得られた教訓、地元の川に対する思いなどを募集しておりますので、引き続き、JRRN 会員皆様の積極的なご協力をお願い申し上げます。

活動報告(1)

第 1 回 JRRN 河川環境ミニ講座「環境流況」開催報告

2008 年 7 月 18 日（金）に、JRRN 主催で第 1 回 JRRN 河川環境ミニ講座「環境流況～流水の正常な機能の維持に向けて～」が開催され、平常時の流水管理や諸外国における最近の環境流量の考え方などについて話題をご提供頂くと共に、参加者との活発な意見交換が行われました。

○講 師：大町利勝 氏（JRRN 会員・八千代エンジニアリング株式会社）

○日 時：平成 20 年 7 月 18 日（金）15:30～17:30

○会 場：（財）リバーフロント整備センター



第 1 回ミニ講座の様子

講演は、日本における平常時の流水管理の歴史や法制度についてのおさらいから始まり、続いて、講師の大町氏が直接翻訳を行った I U C N（世界環境保護連盟）発行の環境流量に関する書籍「FLOW」、また世界銀行発行の技術指針「水資源と環境：環境流況」の内容について諸外国の事例としてご紹介頂きました。

約 1 時間にわたる意見交換では、これからの平常時の流水管理について様々な視点での質疑応答が行われ、河川環境の再生に向けた知識を学ぶ上で貴重な機会となりました。

※当日の配布資料は以下からダウンロード可能です。

URL: <http://www.a-rr.net/jp/info/letter/eventreport/860.html>

活動報告(2)

韓国「健やかな道林川をつくる市民の会」との意見交換会の報告

韓国ソウル市内の道林川（ドリムチョン）をフィールドに活動する「健やかな道林川をつくる市民の会」の代表を含むメンバー14 名が、2008 年 7 月 15 日（火）に財団法人リバーフロント整備センターを訪問し、JRRN 事務局との意見交換を行いました。



意見交換会後の記念撮影

「健やかな道林川をつくる市民の会」は 1999 年から活動を開始し、「元気な道林川を創るために道林川

流域と冠岳地域の環境を地域住民とともに守り、持続可能な社会と自然と人間が共存するより良い生活を追い求めること」を活動の目的としている会員約 300 名の団体です。

意見交換会では、JRRN 事務局より、日本の河川環境行政の歴史や現在の河川再生に向けた事業について説明し、その後本題である、子供達や市民が主体となった河川再生の取り組みについて紹介しました。

また道林川 N P Oからは、道林川における子供達の活動について中学生より発表が行われ、その後約 30 分に渡り様々な意見交換を行いました。

韓国では、小中学校の環境学習として、河川保全に取り組む地域団体と連携したプログラムが国の助成の下で実施されているそうです。今後も JRRN として情報交換を行いながら、日韓の河川分野の交流に貢献できればと思います。

URL: <http://www.a-rr.net/jp/info/letter/activity/847.html>

活動報告(3)

ARRN 事務局としての活動報告(ニューズレター創刊・常設委員会設置)

①ARRN Newsletter 創刊

ARRN (アジア河川・流域再生ネットワーク) が設立され約 1 年半が経過しましたが、この度、「ARRN Newsletter」が創刊されました。

創刊号 (Vol.1) では、玉井信行 ARRN 会長の挨拶や ARRN の概要について、また「アジアの河川再生事例と動向について」と題し過去の ARRN 国際フォーラムで紹介されたアジアの河川再生の事例を紹介しています。

なお、現在、JRRN が ARRN 事務局を担っており、今後は ARRN Newsletter を通じて日本国内の河川再生に関する事例をアジアに向けて発信していくと共に、諸外国の優れた事例も積極的に紹介していければと思います。

本ニューズレターは以下からダウンロードが可能です。(英語版)

URL:
http://www.a-rr.net/jp/en/arrn/letter/docs/ARRN_Newsletter_vol1.pdf

②ARRN 常設委員会設立

昨年 12 月に開催された第二回 ARRN 運営会議において、ARRN の今後の活動内容や情報循環策について議論するための「ARRN 情報委員会」、及び ARRN として保有すべき技術やアジア版河川再生ガ

イドラインの作成を目的とした「ARRN 技術委員会」の二つの常設委員会設立が決まりました。

この度、ARRN の主要メンバーである日中韓三カ国よりそれぞれの委員会に 1 名ずつが選任され、情報委員会及び技術委員会が正式に設立されました。

本年 9 月下旬に第一回情報委員会及び技術委員会を開催し、ARRN の更なる発展と情報整備に向けた議論を進めて参ります。



ARRN 情報委員会・技術委員会メンバー

<ARRN 情報委員>

- China-RRN: Prof. Liao Wengen
(中国水利水電科学研究院)
- Korea-RRN: Dr. Hong Koo Yeo
(韓国建設技術研究院)
- Japan-RRN: Dr. Kazumasa Ito
(リバーフロント整備センター)

<ARRN 技術委員>

- China-RRN: Prof. Wang Hao
(中国水利水電科学研究院)
- Korea-RRN: Dr. Kyu Chang Oh
(東部エンジニアリング株式会社)
- Japan-RRN: Dr. Keigo Nakamura
(独立行政法人土木研究所)

会議・イベント等 (2008 年 8 月)

(ARRN・JRRN 主催・共催の会議・イベント)

■ ARRN 主催「河川環境講演会」

○日時：平成 20 年 9 月 16 日(火) 13:30-17:30

○会場：東京大学工学部 1 号館 15 号講堂

○講師：

- 1) Prof. Peter Goodwin, Vice President of IAHR, "New Trend in Hydro-Ecological Engineering"

- 2) Prof. Joseph Lee, Vice President of IAHR, "Recent Problems in Ocean Outfalls in Hong Kong"

○詳細：英語講演(逐次通訳)を予定しており、講演プログラム、参加費等の詳細は近日中に JRRN ホームページに掲載いたします。

(その他の河川再生に関する主なイベント)

■ 平成 20 年度 河川環境実務者研修 (現場編)

○日時：平成 20 年 8 月 7 日～8 日

<http://www.a-rr.net/jp/event/04/794.html>

■ 第 13 回 水シンポジウム 2008 in ちば

○日時：平成 20 年 8 月 7 日 (木) 9:00～17:00

<http://www.a-rr.net/jp/event/03/840.html>

■ 第 123 回河川文化を語る会『河川名の起源・由来を分類する』

○日時：平成 20 年 8 月 18 日 (月) 18:00～20:00

<http://www.a-rr.net/jp/event/03/677.html>

■ 紫川水上劇場 水上野外劇「まれびとエビス～紫川物語」

○日時：平成 20 年 8 月 20 日～24 日 19:00～

<http://www.a-rr.net/jp/event/02/777.html>

冊子・ビデオ等の紹介

■ 川の環境目標を考えるー川の健康診断ー (2008. 7 発刊)

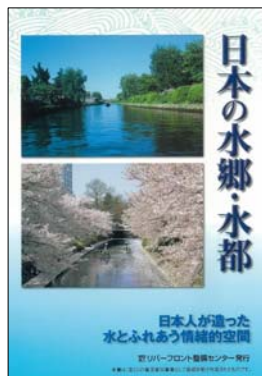
- ・監修： 中村太士・辻本哲郎・天野邦彦
- ・出版社： 技報堂出版
- ・発行年月： 2008 年 7 月
- ・価格： 2,940 円 (税込)
- ・ISBN： 978-4-7655-3431-4



本書は、河川環境について、人の健康診断の類推表現を用いながら、その目標を具体的に提示し、今後の河川の保全・再生のあり方について判りやすく解説しています。

■ 日本の水郷・水都 (2006. 3 発行)

- ・発行： (財)リバーフロント整備センター
- ・価格： 無 料



日本各地に今なお残る水郷や水都の風景と、それを維持するための地域の取り組み事例を写真や資料を交え紹介しています。本書を通じ、身のまわりの水辺にも思いを巡らせてみてはいかがでしょうか。

※ 本書をご希望される方は、「(財) リバーフロント整備センター技術普及部」までご連絡ください。送料のみご負担いただいた上で、無料で提供致します。
電話：03-3265-7121 / Fax：03-3265-7456

事務局からのお知らせ

JRRN は設立して 2 年目を迎えました。JRRN は今後も様々な活動を展開していきますので、まだご加入でない方は、是非 JRRN にご加入下さい。会員資格は下記の通りです。

■ JRRN の登録資格

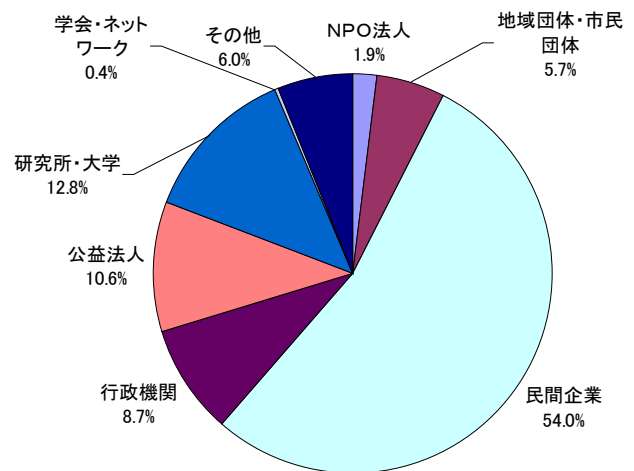
JRRN への登録は、個人、団体を問わず無料です。

市民団体、NPO 法人、行政機関、民間企業、研究者、個人等、所属団体や機関を問わず、積極的に河川環境の整備・改善に携わるすべての方々のご参加を歓迎いたします。

■ 会員の特典

会員登録をされた方々へ、様々な「会員の特典」をご用意しています。

- (1) 国内外の河川環境に関するニュースを集約した「JRRN ニュースメール」が週に 1 回～2 回メール配信されます。
- (2) 国内外のセミナー、ワークショップ等の開催情報が入手できます。また JRRN 主催行事に優先的に参加することが出来ます。
- (3) 必要に応じた国内外の河川再生事例等の情報収集の支援を受けられます。
- (4) JRRN を通じて、河川再生に関する技術情報やイベント開催案内等を国内外に発信できます。
- (5) 韓国、中国をはじめとする、ARRN 加盟国内の河川再生関連ネットワークと人的交流の橋渡しの支援を受けられます。



2008 年 7 月 31 日時点の個人会員構成

【問い合わせ先】

日本河川・流域再生ネットワーク (JRRN) 事務局
財団法人リバーフロント整備センター 技術普及部内
東京都千代田区一番町 8 番地 一番町 FS ビル
T e l: 03-3265-7121
F a x: 03-3265-7456
E-mail: info@arr-net.jp
U R L: <http://www.arr-net.jp/>

■ 会員登録方法

以下のホームページより個人・団体会員登録が可能です。

<http://www.arr-net.jp/info/member.html>